

会議録（案）

会議の名称	平成29年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成29年11月8日（水） 午後7時から午後8時30分
開催場所	保谷庁舎 2階第1会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、岸上委員、中平委員、 西田委員、山本委員、中村委員、田邊委員 事務局：栗林文化振興係長、圓田文化振興係主事
議題	1 平成29年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について 2 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）について 3 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案）について 4 「平成29年度施策・事業評価（平成28年度分）」調査結果について 5 その他
会議資料の名称	【配付資料】 資料1 平成29年度第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案） 資料2 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案） 資料3 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案） 資料4 西東京市文化芸術に関するアンケート調査の考え方（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>《開会》</p> <p>1 平成29年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について</p> <p>○委員：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事録の表現について、分かりやすい表現となるように次のように修正いただきたい。（下線部を追加修正） ・（2ページ 施策1 多様なメディアによる情報提供①の1つ目の意見） 「～担当課だけでなく、<u>市民のイベントの発信についても評価項目として入れてほしい。</u>（中略）今後の展開では市報の役目は担当課からの伝達だけでなく、市民からの情報発信や広報も含むので考慮していただきたい。～」 ・（2ページ 施策1 多様なメディアによる情報提供①の4つ目の意見） 「例えば、1-1-1の「公民館だより」の市民スタッフとして参加させていただいたが、 	

企画を出して、中身はスタッフに全て頼んでいるものの、市民スタッフ側から掲載したいことを提案しても却下されてしまった。」

・（7ページ 施策4 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実④の3つ目の意見）

「来場者が多い少ないが問題ではなく、この数字を評価として文字に残すことがよいのかが疑問である。」

○委員長：

・いまの意見を反映した議事録を確定としてよいか。

<全員承認>

2 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）について

・事務局が「文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）」について説明。

3 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案）

・事務局が「西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案）」について説明。

○委員：

・市民アンケートは無作為で抽出し、無償で市民に依頼するのか。謝礼に相当するものはあるのか。

○事務局：

・ボールペンを調査票に同封することを検討している。

○委員：

・前回のアンケートは現行計画を策定するために実施した際には、文化に関心のない方を対象とした調査は行わなかったのか。

○事務局：

・前は関心のない方に関する調査は実施していない。

○委員：

・普段、文化芸術に関心のない方をどうすれば引き寄せることができるのか苦心しているため、今回のアンケートは個人的にも非常に興味があり、期待している。

○事務局：

・市としても、関心のない方や鑑賞・活動をしていない方に対して、その理由を掘り下げることで課題を明確にするため、調査したいと考えた。

○委員：

・他の自治体での前例はあるのか。

○事務局：

・鑑賞しなかった理由などを聞くことはあるが、文化芸術に関心のない方200名の回答を集めようとする調査は、知るかぎり事例はない。

○委員：

・調査票だけを市民に送っても主旨が伝わりにくいと思う。説明などを追加して分かりやすくした方がよいのではないか。

○委員：

・問7と問11は文化芸術のジャンルが選択肢となっているが、例えば音楽であればクラシック音楽なのか、ポピュラー音楽なのか詳細を聞くことができないか。それによって趣向があるのかが把握でき、地域で活動している人たちが必要としている情報が得られるのではないか。

○事務局：

・詳細について回答いただくことは可能だ。

○委員：

・問7でテレビ、パソコン、CDやDVDでの鑑賞を除くとしている理由はなにか。

○事務局：

・最近では動画サイトやスマートフォンで音楽等を鑑賞しやすくなっている。それを含めるとほとんどの方が鑑賞したことがあることになってしまうので、あえてホールや美術館などでの直接鑑賞に絞っている。

○委員：

・文学を鑑賞の対象から除いている理由は何か。

○事務局：

・文学を直接鑑賞する機会は少ない。市内に文学館があるような自治体であれば選択肢として設けるが、西東京市には文学館や類似施設がないので割愛している。

○委員：

・問7と問8の間で設問を追加してメディアによる鑑賞体験について聞いてはどうか。

○事務局：

・アンケート結果は計画に反映することになる。施策に反映することをイメージしにくい設問は除いている。

・また、問7は、鑑賞に出かけていく範囲を尋ねる問8へとつながっていく設問であるため、問7と問8の間に新しい設問は追加しにくい。

○委員：

・文化芸術に関するアンケートであれば、市民がどのような鑑賞活動をしているのかを

聞きたい。設問の流れがあるのであれば、一連の設問の最後に追加してはどうか。

- ・設問項目の「6 生活文化」では、もっと多くのジャンルを示した方がよいと思う。

○委員：

- ・生活文化に茶道は入れなくてよいのか。華道、書道があるのに茶道がないのは不具合があると感じる。

○事務局：

- ・そのように修正する。

○委員：

- ・モニター調査では、直接鑑賞をしていない人は文化に関心がない層に該当することになっている。時代背景を考えるとやや乱暴ではないか。

○委員：

- ・いまやウェブサイトやDVDなどのメディアは文化を鑑賞する手段となっている。直接鑑賞だけでは社会の片面しか見ないことにならないか。市民が実りを得るための施策を考えるためにも、どのような生活をしているのかをまず知るべきではないか。

○委員：

- ・文化芸術に関する活動を尋ねる設問ではユーチューバーをしている人は活動に含まれるのに、鑑賞対象からは外れている。

○委員：

- ・同じ映画鑑賞でも、映画館と図書館で見るのは料金も大きく違う。メディアや直接鑑賞にこだわるのであれば、考慮していただきたい違いである。

○事務局：

- ・ご意見を踏まえて再考したい。

○委員：

- ・鑑賞や活動で利用した場所を尋ねる問8と問14には、練馬区も追加すべきではないか。

○事務局：

- ・ご指摘の通り修正したい。

○委員：

- ・アンケートの目的が鑑賞などでの施設の利用が中心となっており、施設をどうしていくのかという内容に偏っているように感じる。一方、委員からはメディアを通じた鑑賞・体験も入れるべきだという意見が多い。ハコモノばかりではなく、ソフトについても尋ねた方がよいのではないか。

○事務局：

資料 1

・たしかに施設をクローズアップしているかもしれない。ただ、鑑賞や活動、市民協働などの環境整備も行政の役割なので、市民の満足度などを把握したいと考えている。

○委員：

・市民が1日のうちに文化にかけている時間を把握することが重要だと思う。施設での鑑賞を尋ねているので、全体的にハードに関する話になっているように思う。

○事務局：

・施設に関する設問があるが、それがすべてではない。誤解を生むようであれば、順番を入れ替えることも考えられる。

○委員：

・市内のイベントへの参加の有無を尋ねる問9は、市が主催している事業が少ない。

○委員：

・そもそも市が主催している行事に限定するのか。

○委員：

・「参加」という言葉が曖昧だ。観客として参加するのか、運営側として参加するのか明確にした方がよい。

○委員：

・観客として参加するということだと理解している。

○委員

・西東京音楽祭は他の行事と規模も異なり、他市で開催することもあるため、適当ではない。設問自体、必要かどうか検討した方がよい。

○委員：

・選択肢となっている事業は、市民が自主的に企画しているものなのではないか。

○委員：

・多摩六都フェアは行政が主催しているものだ。また、多摩六都フェアではワークショップなども行っているが、多くは出店をイメージするだろう。

○副委員長：

・この設問では、知名度を聞いた方がよいのではないか。

○事務局：

・問9は、市内のイベントに参加したことがない理由を尋ねる問10につながる設問となっている。参加したことがあるかどうかを尋ねたい。

○委員：

・問10は聞きたい。

○事務局：

・それでは問9の「4 西東京音楽祭」は削除し、追加すべき項目があれば提案いただくということでよいか。

○委員：

・提案するとして、今後のスケジュールはどのように考えているのか。会議で調査票を確認できるのは、これが最後か。

○事務局：

・今回の意見を踏まえ、庁内で検討した調査票を皆さんに確認いただくようにしたい。年内にはアンケートを実施したいので、次回の委員会では確定版を確認いただくこととしたい。

○委員：

・問9で取り上げるイベントの定義はしっかりしておきたい。

○委員：

・規模は異なるが、町内会・公民館でも同様の行事やイベントは実施している。

○事務局：

・ご意見を考慮し反映していと思っているので、問9に追加すべき行事やイベントについてご意見頂きたい。

○委員：

・問10につなげることを重視するならば、イベントを例示した上で、市内の事業に参加したことがあるかどうかを尋ねる設問に変更してもよいと思う。

○委員：

・モニター調査だが、文化芸術に関心のない方を200名集めるのは大変ではないか。

○事務局：

・調査会社に登録している西東京市民の方に依頼し、回答いただくかたちになる。正確に聞いたことはないが、回答率は1割程度と想定している。そのなかで、文化芸術への関心を尋ねる問2と、鑑賞経験の有無を尋ねる問4の組み合わせで関心のない方をグループ化する。

○委員：

・同じ人に市民アンケートが届き、モニター調査の依頼も届くという可能性があるのではないか。

○事務局：

・ご指摘の通りであり、回避することができない。

- 委員：
・先ほど市民アンケートに対する修正意見は、モニター調査にも反映するのか。
- 事務局：
・反映する。
- 委員：
・文化芸術に対する関心を尋ねる設問について、自分が鑑賞することは関心がないが、子どもに鑑賞させることは関心がある人もいるだろう。
- 委員：
・就労形態を尋ねる際に「1 会社員・公務員」と「2 自営業・自由業」を分けているのはなぜか。
- 事務局：
・時間的な制約が大きいかどうかだ。
- 委員：
・「5 家事専業」と「6 無職」の違いは何か。
- 事務局：
・「6 無職」は概ね高齢の男性になると予想されるが、「5 家事専業」とは異なると考えている。
- 委員：
・利用したことのある施設を尋ねる問5の「10 アスタ市民ホール」は一般的には分からないのではないか。
- 事務局：
・分かりやすいように修正したい。
- 事務局：
・来月は12月4日（月）同じ場所での開催を予定している。
・来年1月以降の会議の日程について、1月15日、2月21日で決定。開催場所を確認し、事務局より連絡する。

以上

《閉会》